オープンラボ、最終回を迎える

ましきラボ10年、感謝のオープンラボ開催

10月17日、秋津川河川公園にある「ましきラボ」で322回目のオープンラボが開催されました。

平成28年熊本地震からの復興まちづくり支援拠点として熊本大学が中心に立ち上げたこのラボは、今年で活動10周年。今回が最後のオープンラボとなります。

会場は10年間の活動に関わってきた多くの人でにぎわい、これまでの歩みを振り返りました。

参加者の濱田雅之（はまだまさゆき）さんは、「住民協働のまちづくりについて多くのことを学びました」と、感謝を語りました。

最後のオープンラボに立ち合った皆さん

社員も住む町へ復興の後押しを

企業版ふるさと納税感謝状贈呈式

10月2日、町は企業版ふるさと納税により寄付を頂いた西邦電気工事株式会社（熊本市）に対し、感謝状を贈呈しました。電気・通信・配電工事など、県内各地のインフラ整備に尽力し、今年創立80周年を迎える同社は、町の熊本地震からの復興推進プロジェクトに賛同し、今回の寄付を行いました。

感謝状を受け取った豊田一生（とよたいっせい）代表取締役社長は、「社員も生活を営むこの町の復興に、少しでもお役に立てれば」と語りました。

西村町長から感謝状を受け取った豊田代表取締役社長

児童たちの鋭い質問にたじろぐ団員たち

消防団員のお仕事に興味しんしん

町消防団員による出前授業

10月19日、町消防団による出前講座が津森小学校で行われました。3年生を対象として行われたこの授業では、第5分団（津森）の消防団員が講師となり、子どもたちは、地元で活躍する消防団の活動を学びました。

「服は燃えないんですか」、「なんで消防団に入ろうと思ったんですか」、「現場に着いて最初にすることは何ですか」、「夜遅くに火事があったらどうするんですか」と、児童は熱心に質問し、消防団の重要な役割と防災への関心を深めました。

（下段左から）表彰状を掲げる恒松大士（つねまつたいし）さん、矢野さん、東雲総汰（しののめそうた）さん、吉住奏斗（よしずみかなと）さん（上段右）西本仁史（にしもとひとし）校長

災害現場で若い力が輝く

災害ボランティアに従事した中学生へ感謝状贈呈

10月15日、町社会福祉協議会は、令和8年熊本地震において災害ボランティアに従事した益城中の生徒4人に感謝状を贈呈しました。

平成28年熊本地震で助けてもらった恩返しをしたいという思いから活動に参加した4人。「大変な作業もチームで乗り切りました。現場でもらった感謝の言葉が大きな励みになりました」と、当時のことを振り返ります。

矢野心乃祐（やのしんのすけ）さんは、「今後大きな災害が起きても、自ら率先して活動できるようになりたい」と語りました。

26年間の集大成、彼岸花の花道

彼岸花街道が今年も満開

10月初旬、「彼岸花街道」が見頃を迎え、多くの花見客でにぎわいました。

田原地区を流れる木山川の河川敷では、毎年9月下旬から10月初旬にかけて彼岸花が咲き誇り、地域の名所となっています。

本紙令和7年11月号「益城のがまだしもん！」で紹介した光永保行（みつながやすゆき）さん、由美子（ゆみこ）さん夫婦は、共にこの街道の手入れを続けて今年で26年目。しかし、年齢的な事情から二人がこの活動に携わるのは今年が最後となります。

その最後の活動に応えるかのように、今年は例年以上に見事な花々が咲きそろいました。

街道には、ゆっくりと散歩を楽しむ地元の人や、評判を聞きつけてカメラを片手に初めて訪れた人の姿も多く、長年街道を見守ってきた保行さんはその光景に目を細めていました。

街道に咲き誇る彼岸花

プロドライバーと整備士の技を体験

ユナイテッドトヨタ熊本 GRガレージ熊本中央・出前授業

プロドライバーと整備士による出前授業が9月25日、キズナパークで開催されました。

木山中1・2年生を対象に行われたこの授業は、キズナパークのネーミングライツ・パートナーであるユナイテッドトヨタ熊本㈱が、子どもたちにモータースポーツの魅力を伝えるために開催したもの。プロレーシングドライバー・吉田広樹（よしだひろき）さんと塚田利郎（つかだとしろう）さん、GRガレージ熊本中央の整備士・西川卓見（にしかわたくみ）さんが講師を務めました。

室内での授業では、プロレーサーや整備士など車に関わる仕事の魅力や、これまでのキャリアの歩みなどが紹介され、生徒たちはレースに臨む際のそれぞれの役割やチームワークの大切さを学びました。

また、野外では吉田選手によるデモランのほか、レースカーの乗車体験やタイヤ交換体験などが行われ、生徒たちは迫力あるプロの技術を間近で体感しました。

1 迫力のデモラン 2 3 本物のレースカーとプロの技を実体験